



山下 清美 議員



建設中のバイオガスプラント（美蔓）

家畜のふん尿対策は

町長 資源循環型農業を推進している

問 町内の牛は3万6千頭以上飼育され、規模拡大に伴うふん尿処理が課題である。バイオガスプラントは、現在稼働中の施設、整備中の美蔓地区、また、羽帯地区でも検討中であるが、他の地区の状況は。

町長 上羽帯地区でも検討を進めようとしていたが、北海道電力の送電線に空容量がないため進められない。十勝全体の動きと連携しながらプラントの

問 第5期清水町総合計画に「資源循環型農業の推進」とあるが、本町における資源循環の現状は。

町長 耕畜連携による麦かん

町長 社会参画を

問 活動の場の提供としては老人福祉センターや世帯間交流センター、各福祉館を設置しており、老人クラブ活動をはじめとしたサークル活動やサロン活動等が行われている。高齢者タクシー乗券券助成など今後も活動の支援と周知を図っていく。

町長 保健福祉課職員が家庭訪問を随時行っているほか、各介護保険事業所、見守り活動をしている町内会等からの情報提供により把握に努めている。

高齢者世帯の実態把握の現状は

町長 家庭訪問や町内会等との連携により把握に努めている

問 第5期清水町総合計画に、「高齢者の社会参画の推進」とあるが、活動支援の現状は。

町長 社会参画を

問 同じく第5期清水町総合計画に、「自立して暮らせる地域づくり」とあるが、高齢者世帯の実態把握の現状は。

問 コミュニティ・スクールの立ち上げに向けて検討しているが、しみず「教育の四季」の実践推進方法との違いは。

問 子育てが終わった世帯とのつながりをどのようになっているのか。

コミュニティ・スクールの導入は

教育長 “しみず「教育の四季」”の実践を基軸に移行する

教育長 しみず「教育の四季」の取り組みは、コミュニティ・スクールでうたわれている「地域とともにある学校づくり」そのものであり、その実践を基軸にコミュニティ・スクー

教育長 新年度よりコミュニティ・スクールコーディネーターを配置し、町民総ぐるみの教育活動へつなげていく。

町政を問う！

一般質問

3月定例会では7人の議員が14項目にわたり一般質問を行いました。質問と答弁は要約して掲載しています。

一般質問とは

議員が町政全般に関して、執行機関（町長や行政委員会）にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。



山下 清美 議員 9

- ・家畜のふん尿対策について
- ・高齢者の状況について
- ・コミュニティ・スクールについて



口田 邦男 議員 10

- ・本町における不祥事の対応策は
- ・防災対策は万全か



佐藤 幸一 議員 11

- ・JR十勝清水駅の跨線橋対策について
- ・清水高等学校の支援について



鈴木 孝寿 議員 12

- ・観光協会への補助事業の拡大による商工業への振興策について
- ・結婚・少子化対策事業について
- ・立地適正化計画の策定について



中河 つる子 議員 13

- ・高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる福祉サービスの提供は



高橋 政悦 議員 14

- ・小学校の時間割配分について
- ・町営住宅を賃貸契約する際の連帯保証人について



川上 均 議員 15

- ・交通弱者に対するモビリティ政策について